

松江市黒田町周辺は地盤が低く、大雨が降るとびに冠水します。ホームセンターいらないと食品スーパーみしまやの共同駐車場の裏手にある道路に沿って流れる比津川が、大雨の度に氾濫するので、つい先日道路と川の界にコンクリート擁壁を造る護岸工事が完了したばかりでした。

近所なので買物に行く度に眺めては、これくらいの高さがあれば例年の大雨程度だったら大丈夫だろうなと思っていたのですが、七月九日の未曾有の豪雨の前にはまるで無力でした。ネットで道路情報カメラを見ると件の駐車場が映っていて、一帯が見事に冠水していたのです。せっかく梅雨の前に工事を終らせたのにも拘わらず、この豪雨の被害は工事関係の方たちにとって残念至極であつたに違いありません。それでも人的被害が出なかったことは不幸中の幸いでありました。

以前から何ゆえにこの辺りは性懲りも無く冠水するのだろうかと思っていたのですが、数日後の地元新聞にその答えとなる記事が掲載されていて、読んで吃驚しました。なんと話は四百年前の堀尾吉晴公による松江開府まで遡るというのです。湿地や沼地だった一帯を、山を削って埋め立てて屋敷地を造成したのですが、黒田町周辺は埋め立てが

遅れて低いままになっているのだそうです。

あまつさえ住宅や商業施設が集まっています。ファルト舗装されている場所が多いので、雨水が地面に吸収されずに川に流れて溢れるらしいのです。何だか分かったような分からないような、なんとなく言い訳っぽい感じがしないでもないのですが、行政の担当者がそう言うのだからきつとそうなんだろう。

さてその週末、関西で暮らす娘と孫娘に会いに車で出かけました。幸い心配していた雨も上がり安堵したのですが、一泊して楽しく過ごした翌日の帰りのことです。夕方松江に向かう前に念のため雨雲レーダーを確認すると、中国道から米子道にかけての上空が雨雲に覆われていて場所によりかなりの降水量の予報です。先日の豪雨が脳裏をよぎり不安に襲われましたが、意を決して帰路に着きました。

案の定、米子自動車道で豪雨に見舞われました。叩きつけるような大雨の中、すでに陽は落ちてライトのみの視界は数メートル。事故の恐怖に取り憑かれて六十キロまでスピードを落としましたが、後方より迫る車がビュンビュン追い抜いていきまふす。軽自動車にも抜かれました。命知らずとしかいようがありません。

## 北海道への旅、三度目 木幡智恵美

15

事故に遭った縁起の悪い車というより、激しい衝撃から守ってくれた車であることの方を選んだ私は、次に「さんが来られた日「前と同じにします」と答えた。新しい車が来たのは十月二十八日、事故から一か月半近く経っていた。これまでずっと車両保険に入っていなかったもので、相手側の保険でも新車代全額とはいかず、少し手出しがあった。娘や息子からも言われ、今回入る保険には車両保険を追加することにした。翌日、色も形も同じでナンバーだけが違う車に乗って畑に向かう。道路の白線の上にかかる「ピピピピ」と鳴り、夫が「はいはいはい」と答える。一か月半ぶりで妙に懐かしい。

その新しい車に乗り、半年あまり経った五月の連休明け、私はとんでもないことをしてかしてしまふ。その日は土曜日で玉湯に子守に行き、夕方孫たちを我が家に連れ帰り、仕事帰りに娘が寄ることになった。家の横の車庫に娘の車は入らないので、いつも置いている駐車場ではなく車庫の方に入れようとバックしている時だった。いきなり車が暴走し、車窓の景色が超スピードで流れ、ドカンという音と共に停まった。その間、何が起きていたのか分からずじまい。まずは後部座席にいた寛大と隣にいた実歩の無事を確認し、車を降りたところに夫が「何した」と家の中から飛び出してきた。「いや、何が何だか分からんよ」と言うと、「前の道路で車がぶつかったかと思って出てみたら、うちじやないか」とあきれた顔を向ける。「寛ちゃん、実歩ちゃん、大丈夫？」降りて来た二人にもう一度聞くと、「大丈夫だけど、音にびつくりした」と実歩。夫は早速車屋さんに電話を入れていた。孫たちを家の中に入れ、おやつを食わせている間、車庫の様子を見に行つた。塀のブロックが割れ、中の鉄柱が露わになっている。ミニトマトが植わった鉢は片側が割れ、アオジソのプランターの一つはアオジソごとぺちゃんこ、もう一つは半壊している。倒れたカブのテールライトのカバーが欠け、セメント床にはその赤い破片やらカーポートの屋根を留めている傘釘やらが散乱している。バックする際、いつものようにゆつくりゆつくりアクセルを踏んだはずなのに…。目の前の光景を眺めているうちに、恐怖感がじわじわと寄せて来た。

**30代フリーター** 東京都知事選で無名に近かった石丸伸二が165万を超える得票で2位になったのは「推し活」の結果だという見方を伊藤昌亮という社会学者がしている。

**年金生活者** 納得できる見方だ。

推し活はひいきのアイドルやキャラクターを応援するために、ライブに行ったり、グッズを買ったりする活動なので、カネも時間もかかる。ある程度ふところに余裕がないとできないし、流行への追従とか、つき合いとかでできることではない。自らの自由な選択によってしか成り立たない活動だ。

石丸への支持の広がりも、この「自由」さだ。石丸は「一切の国政政党、既存勢力に属しない」と宣言して選挙に臨んだ。既成の政党が示す選択肢の外で、石丸を自らの「推し」にした若い有権者が彼の支持層の大きな部分を占めた。

**30代** 推し活が選挙を左右するほどになるとは。

**年金** 昔にくらべると社会が豊かにな

るに至った強みは『かわいさ』にあった。坊ちゃん育ちの保守政治家で、リート左派のような冷たさがない。政策とは別文脈で人間的にチャームングだと思わせる魅力、求心力があったのだろう」と語っている（2020年9月7日朝日新聞デジタル）。

自民党内には若手の小泉進次郎（元環境相）、小林鷹之（前経済安全保障担当相）に対する総裁選への出馬待望論が出ていると報じられている（7月6日産経新聞）。「推し活」の対象になりそうな二匹目のドジョウを狙う動きが党内にあることを推察させる。

**30代** 鈴木木の言う通り「政策とは別文脈」の安倍の強みが「かわいさ」だったとすれば、石丸の強みは何だったんだ。**年金** 「面白さ」だろう。

石丸に投票した無党派の若年層は、そもそも政策というものを前の世代ほど重視していなかったと推察される。それは無知とか無関心によるものではなく、いまある政策の選択肢の中に選みたいものがないことによる。

り、そのゆとりが個人を自由にし、推し活という自分自身の選択による活動を可能にした。

かつてなら貧困から脱出するために懸命に働くことが生きがいになり得た。その条件が失われた現在は、何かに強いられてそれを生きがいとするのではなく、自らがそれを自由に選ぶほかになくなった。推し活はそのひとつと考えることができる。

今ほど豊かでなかった社会で育つた上の世代が、昔の意識に囚われて「自由の持ち腐れ」に陥りがちなのに対し、今の社会しか知らない若い層はそれがもたらした自由を自然に行使している。それが「石丸押し」につながった。

共同通信社の出口調査結果では、無党派層の投票先は石丸が37%でトップ、年代別では18〜29歳の41%が石丸氏に投票した。都知事選の投票率は60・62%と、前回の55・00%を5・62ポイント上回った。推し活世代は石丸を文字通り「推し上げた」だけでなく、投票率も押し上げたと言うことが

政策とは、大きっぱに言うなら、限られた富をどこに優先的に再分配するか、その方針のことだ。中心をなすのが社会保障政策だ。今の日本では自民党から共産党までの政党もほとんど例外なく、若年世代よりも高齢世代に優先的に再分配する政策を掲げている。つまり基本的な政策の違いで投票

できる。

石丸がユーチューブの特性を駆使してアクセスに成功した有権者、すなわち既成の選択肢の外にいて、今まで投票に行かなかつた有権者の層を池田信夫は「石丸伸二氏の発見したブルーオーシャン」と呼んでいる。

**30代** いまピンチの自民党はさつそく次の衆院選でそれをまねようとするかもしれない。

**年金** 安倍政権は若い世代の「推し活」に支えられた一面があり、自民党には「成功体験」がある。

日本経済新聞が過去の同社の世論調査を分析したところ、2012年12月の政権交代以降の安倍内閣の支持率は平均で53%で、世代別で最も支持率が高かったのは29歳以下の59%だった（2021年8月9日）。この世代はなぜ安倍政権を支持したのか。

動画共有アプリには首相時代の安倍が若者たちから「かわいい」と評された動画がいくつも残っている。作家の鈴木涼美は「安倍さんが長く支持され

先を選ぶのが難しくなっている。

**30代** それならそうなっている現状そのものを変えたくなるはずではないか。

**年金** それをしなくても、個人がある程度の自由を享受できるほど豊かになっていくのが今の社会だ。それでも1票を入れるとすれば「政策とは別文脈」の物差しが必要になってくる。しかし、既存の政党の中に「別文脈」の魅力も備えたところは皆無に近い。それが若い層の投票率の低さとなつてあらわれている。2021年の衆院選では10代が43・23%、20代が36・50%と、全年代を通じた投票率55・93%を下回っている。

だから、まれに「政策とは別文脈」の魅力を感ぜさせる人物があらわれると、投票する気が起きる。「かわいい」安倍晋三はそのひとりだった。

石丸にはつまらないものを壊す「面白さ」があり、選びたい選択肢のない政治に代わる新たな政治への希望を若者に感じさせたのかもしれない。

ニュース日記 931  
**中村 礼治**

## 石丸伸二の165万票